

**令和8年第3回 岩沼市議会定例会
一般質問通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	12	櫻 井 隆	<u>1. 市民会議の設置について</u> 1. 就任の挨拶及び市政報告について (1) 市長は就任の挨拶及び市政報告の中で、選挙公約の柱であった市民会議について一切触れていなかったが、その理由を伺う。 (2) 市民会議を設置する考えに変更はないか伺う。 2. 設置時期について 設置する場合、いつ頃を予定しているのか伺う。 3. 位置づけについて (1) 市民会議は市長の私的諮問機関なのか、それとも市の正式な附属機関として設置するのか伺う。 (2) 条例設置を考えているのか伺う。 4. 議会との関係について (1) 市民会議から提言があった場合、市長はその提言をどの程度尊重する考えなのか伺う。 (2) その提言が議会の判断と異なった場合、どちらを優先する考えなのか伺う。 (3) 市民会議が議会を補完する存在なのか。それとも別の役割を担うものなのか市長の認識を伺う。 5. 委員構成について (1) 委員はどのような方法で選任するのか伺う。 (2) 年齢構成や男女比なども考慮するのか伺う。 6. 運営について (1) 会議は公開なのか伺う。 (2) 委員への報酬や費用弁償は予定しているのか伺う。	市 長
			<u>2. 学校プールの今後の在り方について</u> 1. 近年、学校プールの老朽化が進み、多くの施設が更新時期を迎えている。また、猛暑や天候不順により、水泳の授業が計画どおり実施できない日も増えている。まず、市内小中学校のプールの老朽化状況について、教育委員会の認識を伺う。 2. 現在は学校ごとにプールを維持しているが、今後は施設の集約化や共同利用も選択肢の一つになるのではないか。教育委員会の考えを伺う。 3. 民間施設や温水プールを利用した水泳の授業を導入する自治体も増えている。本市でも今後の選択肢	市 長 教育長

(同)	(同)	櫻井 隆	として検討する考えはあるか伺う。 4. 今後10年から20年先を見据えた学校プールの基本構想、あるいは個別施設計画を策定する考えはあるか伺う。	市長 教育長
2	4	高梨 明美	1. 岩沼駅西口の整備について 1. 西口エレベーターの復旧工事と再開時期について (1) 今年3月の火災により長期間停止している西口エレベーターについて、今期定例会の市政報告で「今月中旬に修繕、最短で今月下旬に運転再開見込み」と示されたが、進捗状況と安全確認の確実な履行について伺う。 (2) 長期間の運休により、高齢者や車いす利用者などの移動弱者に対し、市としてどのような配慮や周知を行ってきたか、その対応状況と課題を伺う。 (3) 今回の火災による故障発生時の復旧と安全対策について、部品調達や調査に時間を要しているが、エレベーターは駅の利便性に直結する重要インフラである。今後同様のトラブルが発生した際、より速やかな部品調達やメーカーとの連携体制及び喫煙マナーの啓発をはじめとする対策の強化が必要ではないか、考えを伺う。 2. 駐輪場の整備について 西口にある公営駐輪場は常に多くの自転車があり、乱雑に止めてあるような状況が見受けられる。 (1) 現在の利用状況を伺う。 (2) 運営における課題を伺う。 (3) 再整備について ① 電動アシスト自転車等の普及に対して駐車スペースの大型化などの対応を行っているのか伺う。 ② 未利用が多い上段ラックの見直しが必要と考えるかどうか伺う。 ③ 増設したことにより歩行スペースが狭くなり危険を感じるが、安全な歩行空間の確保のためどのように対応しているのか伺う。 ④ 近隣の駅にある公営駐輪場は、2階建てで駐輪スペースもゆとりがあり、整然としている。本市は10年以上も前から、整備について何度も一般質問で取り上げられているが、根本的解決には至っていない。全天候型、安全動線の確保など、駐輪場の抜本的な整備が必要と考えるが、市長の見解を伺う。	市長

(同)	(同)	高 梨 明 美	2. 事前防災の推進について 1. 感震ブレーカーの普及促進について (1) 本市における感震ブレーカーの普及状況と課題について 首都直下地震や大規模災害に備え、電気火災を防ぐ「感震ブレーカー」の重要性が国や県においても指摘されている。 ① 本市のこれまでの普及における周知の取組と設置状況を伺う。 ② 市民向けの防災訓練や広報を通じて必要性を周知すべきではないか伺う。 (2) 令和8年2月に消防庁から示された資料では、感震ブレーカーの普及にあっては、地震時において火災の延焼の危険性が高い木造密集市街地等を重点エリアとして設定することが適当であるといった見解がある。本市として重点エリアの設定を考えているのか伺う。 (3) 設置には一定の費用がかかるため、導入の大きなハードルの一因となっている。他市の先進事例も参考に、高齢者世帯や木造住宅密集地域を対象とした設置費用の補助制度を導入してはどうか、考えを伺う。 (4) 市有施設及び指定避難所の感震ブレーカーの設置または電気火災の防止策の状況を伺う。 2. 家具固定器具の普及促進について 大規模地震における負傷原因の多くは家具の転倒や落下である。市民の自助努力のみでは限界があり、市のさらなる普及啓発や支援策が必要と考える。 (1) 本市のこれまでの普及における周知の取組と設置状況を伺う。 (2) 賃貸住宅居住者向けに、壁を傷つけない固定器具の紹介を行うなど、具体的な情報発信によるさらなる周知が必要ではないか考えを伺う。 (3) 自力での家具固定が困難な高齢者や障害者の世帯に対し、器具の取付支援の事業を引き続き実施すべきと考えるがどうか伺う。また、器具の購入費用の補助事業も併せて実施してはどうか伺う。	市 長 教育長
3	10	渡 辺 ふさ子	1. 市長の政治姿勢について 1. 市長は選挙公約において、市民会館駐車場の無料化、市有地は適正価格で有効活用し商工業の活発化と財源の確保を両立させる、重要課題の選択は市民の意見が十分反映されるような新たなプラットフォーム	市 長

(同)	(同)	渡 辺 ふさ子	ォームを創ることを掲げた。公約実現に向けての見解を伺う。 (1) 市民会館駐車場の無料化等について ① 市長の決意を伺う。 ② 現状をどう分析しているのか伺う。 ③ 無料化を進めるための課題をどう捉えているのか伺う。 ④ 実現に向けての工程や今後の見通しを伺う。 ⑤ 総合南東北病院への売却はどう進めるのか伺う。 (2) 市有地を適正価格で有効活用することについて ① 差止等請求事件について、市長は市政報告で「岩沼市有地（岩沼市民体育センター跡地）の健全な活用を求める会が原告となり、岩沼市民体育センター跡地について、株式会社福重企画との事業用定期借地権設定契約の差止めを求める訴状が仙台地方裁判所から5月28日付けで送達され、先月30日に第1回口頭弁論が行われました。引き続き、顧問弁護士と相談しながら対応してまいります。」と述べている。 市は「岩沼市有地（体育センター跡地）の健全な活用を求める会」をどのように捉えているのか伺う。 ② 第1回口頭弁論について ア 内容を伺う。 イ 今後の対応の方向性を伺う。 ③ 適正価格とは、どの位を考えているのか伺う。 ④ 前市長が市長選挙を前にして、4月10日に福重企画と正式契約を結び、3月議会でも採決されたことから、岩沼市民体育センター跡地と西側駐車場跡地には既に鉄骨の骨組みが構築され、日々工事が進められている。31年間の貸付を看過するのか伺う。 (3) 重要課題の選択は市民の意見が十分反映されるような、新たなプラットフォームを創ることについて ① 新たなプラットフォームの構想を伺う。 ② 開かれた市政を実現していくために必要な、市民の意見が十分反映される場や対応につい	市 長
-----	-----	---------	---	-----

(同)	(同)	渡 辺 ふさ子	て見解を伺う。	市 長 教育長
			2. 公有地等・公共施設のトイレについて 1. 公園のトイレの水洗化や洋式化について (1) 市内の公園（多目的グラウンド含む）のトイレの現状（和式・洋式・水洗化）を伺う。 (2) 水洗化されていない和式トイレについて見解を伺う。 (3) 年次計画を立て、順次に水洗化、洋式化を進めるべきではないか伺う。 2. 公共施設のトイレについて トイレの現状（男女別和式数・洋式数）と認識、今後の対応を伺う。 (1) 市民会館について (2) 陸上競技場について (3) 本庁舎について (4) 議会棟について	
			3. 補聴器購入費助成事業について 1. 18歳未満で補聴器の購入費補助を受けた方が、18歳以上になって補聴器の更新が必要になった際には、高額な自己負担が発生している。高額な費用負担を理由に補聴器の購入を諦め、日常生活や社会生活において様々な支障が生じることも懸念される。現在、公的支援の対象外となっている18歳以上の軽度・中等度難聴者に対する支援について、今後どのように取り組んでいこうと考えているのか、見解を伺う。 2. リスクを社会全体の問題と捉え、未然にその予防を図る上でも、現在の軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費の補助制度を拡大し、18歳以上の難聴者も補助対象に含めてはどうか伺う。 3. 難聴によりコミュニケーションが困難になると、家族や社会から孤立し、鬱病や、国際アルツハイマー病協会国際会議では認知症の原因にもなるとも言われている。加齢性難聴者も補助対象に含めてはどうか伺う。	市 長
4	14	沼 田 健 一	1. 市長選挙の公約と議会報告・チラシについて 令和8年6月8日の河北新報の見出しに「岩沼市長に鬼沢氏初当選」「現職批判で支持拡大」「具体的政策の乏しさ課題」とあった。そこで、岩沼市長選挙公報に掲載した公約について、そして議会報告・チラシ等との関係についての具体的政策を伺う。 (1) 鬼澤市長はSTEP1からSTEP3の公約	市 長

(同)	(同)	沼 田 健 一	を掲げ当選された。今後どのような形で公約を具現化し、実現に向けた施策を進めていくのか伺う。 ① 「まず！市民会館駐車場の無料化を実現」について、どのような形で、いつ頃まで行うのか、具体的な施策を伺う。 ② 「STEP1洗濯！岩沼を丸洗い！市民生活が第一！山積する行政課題をわかりやすく洗い出し発信します！」について、具体的な施策を伺う。 ③ 「STEP2選択！政治は市民生活そのもの。重要課題の選択は市民の意見が十分に反映されるよう新たなプラットフォームを創ります！例えば市民会議の活用！」について、具体的な施策を伺う。 ④ 「STEP3転換！市有地は適正価格で有効活用。商工業の活性化と財源の確保を両立。人が集い、動く岩沼へ！」について、具体的な施策を伺う。 ⑤ 「目指すは人口5万人のまちへ！」とあり、チラシには8年後との記載があったが、どのような施策で、年次計画などはどのように策定するのか伺う。 (2) 2026年4月25日発行、飯塚悦男議会報告「市民の財産を失うな体育センター跡地・保健センター駐車場は市役所庁舎建て替えに必要な公共ゾーン」について ① この議会報告について、市長の見解を伺う。 ② 「現庁舎は築50年になり建替えの時期に来ている。」とあるが、市長は庁舎の建て替えをどのように考えているのか伺う。 ③ 「このような拙速な手続きは、議会が本来果たすべき役割を弱め、市民の声を置き去りにするものであり、議会制民主主義、二元代表制の理念に照らしても到底見逃すことはできません。」とあるが、この点について、市長の見解を伺う。 ④ 二元代表制に対する市長の認識を伺う。 (3) 「2026年1月16日発行、飯塚悦男議会報告「市民の財産を失うな（岩沼市民体育センター・勤労青少年ホーム）跡地5,554㎡（1,683坪）を年830万	市 長
-----	-----	---------	--	-----

(同)	(同)	沼 田 健 一	円で不動産会社に30年間も貸してよいのか」について ① この議会報告について、市長の見解を伺う。 ② 「職員駐車場として利用すべきである。」とあるが、この点について、市長の考えを伺う。 ③ 「議会としても広く市民の声を聴き、跡地利活用について大いに議論すべき」とあるが、どの程度聴くのか、その後どのように対処すべきか、市長の考えを伺う。 (4) 須藤功氏が代表を務める「市有地（体育センター跡地）の健全な活用を求める会」発行のチラシ「体育センター跡地を31年間貸していいんですか？」について ① このチラシについて、市長の見解を伺う。 ② 「住民の了解を得ることなく」とあるが、今後、施策を進めていく上で、どの程度、どのような形で市民の了解を得るべきと考えるか伺う。 ③ 「体育センター跡地は市民の財産であり、市長の財産ではありません。」とあるが、市長として跡地をどのように考えているのか伺う。 ④ 「岩沼市の財政は厳しくないのになぜ貸し出すのか？」とあるが、市長は現在の市の財政をどのように考えているのか伺う。 ⑤ 「財政調整基金（貯金）は10数億円あれば十分なのに30数億円あります。」とあるが、市長はどの程度あれば十分と考えるか伺う。 (5) 「市有地（体育センター跡地）の健全な活用を求める会」の令和8年5月30日発行のチラシ「感謝私たちの活動にご理解いただき感謝感謝です」について ① このチラシについて、市長の見解を伺う。 ② 「市は強引に正式契約を行う暴挙に出ました。また、議会が安易に議決を賛成した」とある。このことについて市長の見解を伺う。 ③ 「市は、駐車場有料化で市民会館や総合体育館、そして、陸上競技場は閑古鳥である」とあるが、現状に対する認識を伺う。	市 長
5	6	佐 藤 剛 太	<u>1. 市長公約について</u> 1. 岩沼市民体育センター跡地における「スターバックス誘致」等の契約履行について	市 長

(同)	(同)	佐藤 剛太	岩沼市民体育センター跡地の利活用については、市民アンケートや住民説明会、そして令和8年2月定例会での十分な議論を経て、「事業用定期借地権設定契約」の議決を経た適法なプロジェクトである。市長は選挙戦等でこのプロセスを厳しく批判されたが、既に確定した議決と事業者への信頼を重視し、市民待望の出店計画をこのまま確実に履行するのか、それとも白紙撤回するのか、市長としての明確な意志を伺う。 2. 「市民会議」の設置目的と二元代表制における位置づけについて 市長は地方自治法に基づく通称「市民会議」の常設を掲げ、そこでの意見を取りまとめ、行政が結論を出すと主張されている。しかし、市民から直接選挙で選ばれた議員で構成される「市議会」こそが、市民の多様な声を代表する決定機関であるはずである。議会と重複するような会議体をあえて常設する狙いと、意見の偏りや意思決定の遅延をどう防ぐのか、その具体的な組織法、条例上の位置づけを市長に伺う。 3. 「すぐやる課」設置に伴う業務重複の回避と組織設計について 「すぐやる課」の設置により、既存の土木課や市民・税務課などとの業務の重複や、指揮命令系統の混乱が懸念され、また、本来、市全体の政策立案や将来を見据えた業務を担う職員が個別案件への対応に追われることで、行政運営の効率が低下するおそれもある。このような課題をどのように解消し、各部署との役割分担や連携体制をどのように構築していくのか、市長の考えを伺う。 4. 「市民会館駐車場の無料化」に伴う歳入減の補填と受益者負担の原則について 市民会館駐車場の無料化は一見魅力的に響くが、公共施設を利用しない市民の税金がその維持管理に投入されるという「不公平性」をどう解消するのか。また、今後、前市政が確保した財源を本施策により取り崩し、これまで行ってきた既存の施設管理や福祉、教育予算を圧迫させない明確な財務根拠を市長に伺う。 5. 「人口5万人」目標における面的開発計画等の継承について	市長
-----	-----	-------	---	----

(同)	(同)	佐藤 剛太	市長は「市外からの通勤者1万2,000人への移住プロモーション」により8年間で人口5万人を目指すとしているが、受け皿となる宅地開発や都市機能の面的整備なしに達成は不可能であると考えている。前市政が進めていた民間活力による開発計画や新駅設置をそのまま継承する意思はあるのか、市長に伺う。	市長
6	9	布田 恵美	1. 誰一人取り残さない避難環境の整備について 近年、自然災害が激甚化、頻発化するとともに、猛暑の常態化により、避難生活を取り巻く環境は大きく変化している。また、避難の形態も指定避難所だけではなく、在宅避難や車中泊避難など多様化している。東日本大震災の経験を持つ本市においても、災害時に市民の生命と健康を守るため、避難所の環境改善や備蓄品の品質管理、多様な避難者への支援体制を一層充実させる必要があると考え、以下について伺う。 1. 地域防災計画及び避難所運営について (1) 能登半島地震など近年の災害を踏まえ、本市地域防災計画や避難所運営マニュアルをどのように検証及び見直しを行っているか伺う。 (2) 猛暑を想定した避難所の暑さ対策や生活環境の改善について、現在の整備状況と今後の方針を伺う。 2. 避難所備蓄品の管理について (1) 備蓄食料及び飲料水は、品質を維持できる環境で保管されているか伺う。 (2) 備蓄倉庫等における温度管理や保管状況の点検はどのように実施しているか伺う。 (3) 猛暑の影響を踏まえ、保管方法や備蓄環境の改善を検討する考えはあるか伺う。 3. 車中泊避難者への支援について (1) 災害時に車中泊避難者が発生することを想定した対応となっているか伺う。 (2) 車中泊避難者への情報提供、健康管理、支援物資の提供などの支援体制について伺う。 (3) エコノミークラス症候群予防、トイレ及び給水など生活環境の確保について、市の考えを伺う。 4. ペット同行避難について (1) ペット同行避難の受入体制及び市民への周知状況について伺う。 (2) 避難所での飼養スペースの確保や避難所運営	市長 教育長

(同)	(同)	布 田 恵 美	への反映について、市の考えを伺う。 5. 要配慮者支援について (1) 個別避難計画の作成状況と今後の取組について伺う。 (2) 在宅避難者や車中泊避難者を含め、多様な避難者を把握し支援につなげる体制をどのように構築していくのか伺う。	市 長 教育長
			2. 熊出没対策のさらなる強化について 1. 近年、全国的にツキノワグマの出没が増加し、人身被害も深刻化している。本市においても市民生活や学校周辺での安全確保が重要な課題となっていることから、令和7年12月定例会での一般質問後の取組状況を検証するとともに、さらなる対策強化について伺う。 (1) 令和7年12月定例会以降の熊出没状況、市が実施した対策及びその効果について伺う。 (2) 熊出没時における情報伝達について、防災行政無線、防災メール、SNS等を活用した情報発信体制の現状と課題、さらなる充実策について伺う。 (3) 学校敷地内及び通学路における熊対策について ① 学校敷地内への熊侵入を想定した安全対策について伺う。 ② フェンスや見通しの確保など、侵入防止対策について伺う。 ③ 熊出没時の児童生徒の避難誘導體制について伺う。 ④ 教職員向け対応マニュアルの整備状況について伺う。 (4) 学校現場における熊侵入を想定した避難訓練や対応訓練の実施状況、教育委員会、警察、地域との連携体制について伺う。 (5) 熊を人里へ近づけないための環境整備について ① 草刈りや藪の管理について伺う。 ② 果樹や生ごみなどの誘因物の除去について伺う。 ③ 緩衝帯の整備などの取組状況と今後の方針について伺う。 (6) 宮城県、警察、岩沼市鳥獣被害対策実施隊及び	市 長 教育長

(同)	(同)	布 田 恵 美	近隣自治体との連携による捕獲、追い払い体制並びに広域的な情報共有の現状と今後の取組について伺う。 (7) A I カメラやセンサーなど I C Tを活用した熊の早期発見及び情報共有システムの導入について、市の考えを伺う。	市 長 教育長
7	15	高 橋 光 孝	1. 市長の公約・市政について 市長は、選挙公約として、「市民会館駐車場の無料化を実現」「山積する行政課題を洗い出し発信する」「重要課題の選択は市民の意見が十分に反映されるよう新たなプラットフォームを創る」「市有地は適正価格で有効活用、商工業の活性化と財源の確保を両立」など多くの公約を掲げて当選されました。市長の公約について伺う。 1. 市民会館駐車場の無料化の実現について伺う。 (1) 無料にしていた時代の課題について伺う。 (2) いつまでにどのような手続きを経て、市民会館駐車場の無料化を実現していくのか伺う。 2. 山積する行政課題を洗い出し発信するについて伺う。 (1) 山積する行政課題とはどんなものがあると考えているのか伺う。 (2) その課題をどのように発信してどのように解決していくのか伺う。 3. 重要課題の選択は市民の意見が十分に反映されるよう新たなプラットフォームを創るについて伺う。 (1) 新たなプラットフォームとはどういうものか伺う。 (2) 重要課題の選択は市民の意見を十分に反映させるとあるが、重要とはどれくらいの内容になるのか、十分に反映させるとは何割の支持を意味するのか伺う。 4. 市有地は適正価格で有効活用、商工業の活性化と財源の確保を両立について伺う。 (1) 岩沼市民体育センター跡地の活用を見直すことを掲げているが、今後どのように進めていくのか伺う。 (2) 適正価格で有効活用とは具体的にはどのようにしていくのか伺う。 (3) 商工業の活性化と財源確保は具体的にはどのようにしていくのか伺う。	市 長

(同)	(同)	高 橋 光 孝	5. 松戸市の「すぐやる課」を参考に同様の課の新設を掲げているが、以下の点について伺う。 (1) 実際にいつまでに新設する予定か伺う。 (2) 「(仮) すぐやる課」の対応内容はどの程度までと考え、どのような体制を考えているのか伺う。 6. m i i i n a について伺う。 (1) m i i i n a の在り方に目的を明確に絞るべきとの考えを示しているが、市長はどうすべきと考えているのか伺う。 (2) 料金などを見直す考えはあるのか伺う。	市 長
8	5	植 田 美枝子	1. 市長の公約と市政運営について 1. 市民会館駐車場の無料化について (1) 無料化すべきと考えるか伺う。 (2) 有料化の要因である「目的外長期駐車」や「目的外利用」による混雑等の課題をどのように解決するのか、検討状況を伺う。 (3) 無料化による減収分をどのように考えているのか、検討状況を伺う。 (4) 無料化の可否の判断時期はいつになるのか伺う。 2. 岩沼市民体育センター跡地について (1) 既に締結された事業用定期借地権設定契約は正式な契約と認識しているが、考えを伺う。 (2) この事業の貸付料や事業者選定プロセスの適法性については既に今年の3月に本市の監査委員が「資料不足で判断できない」としている。このことをどのように捉えているのか伺う。 (3) 現在の工事の進捗率と中止にした場合の賠償額の試算はあるのか伺う。 (4) 財政の健全化を常に最優先課題とすべきと思うが、考えを伺う。 3. 市民会議について (1) 具体的にどのように設置するのか伺う。 (2) どのようなテーマの際に市民会議を招集し、開催するのか伺う。 (3) 期間が短くて議論が思うように出来ない、議論がまとまらない、歩み寄りがなく意見がぶつかったままで議論にならないなどにより市政の停滞を招くのではないかと思うが、考えを伺う。 (4) 市長のリーダーシップをどのように発揮するのか伺う。	市 長

(同)	(同)	植 田 美枝子	2. 市民協働のまちづくりについて 1. 具体策について伺う。 2. 自治会や町内会の活動に役立てる「まちづくり交付金」を交付し、また、市長が直接現場へ行く「出前トーク」を年に35回以上毎年続けている福岡県春日市の市民協働のまちづくりを参考にしているかどうか、見解を伺う。	市 長
			3. 市民バスについて 1. 利用実績の分析について (1) 現在の市民バス全体の利用状況、特に利用者が少ない路線や時間帯をどのように把握しているのか伺う。 (2) 利用者アンケートやパブリックコメントでどのような要望があるのか伺う。 (3) 運行ルートや運行ダイヤの見直しはどのように行っているのか伺う。 (4) 通勤や通学の利用者のために朝夕の駅への便を増やしてはどうか伺う。 (5) 南北の路線（旧4号線）では町なかをバスが走っておらず、とても不便という声を聞くが、南北ルートを走らせてはどうか伺う。 2. 市民バスを利用した事業について 高齢者の健康維持や介護予防になり、市民バスの利用も見込まれる事業で、富山県黒部市で導入している「G oトレ」を導入してはどうか伺う。	市 長
9	13	飯 塚 悦 男	1. 岩沼市民体育センター等の跡地について 1. 現在建設中のスターバックス、ドラッグストア・モリは公益性のある施設なのか伺う。 2. 市民の土地を営利目的の会社の実勢価格より安く貸すことは民業圧迫になり、利益供与になるのではないか、見解を伺う。 3. 佐藤前市長は公募以前にスターバックスの出店を決めていたとの話もあり、調査する必要があるのではないか、考えを伺う。 4. 株式会社福重企画の選定に至った過程を伺う。 5. 現庁舎は築50年になり建て替えの時期に来ている。令和8年第2回定例会での一般質問では、あと30年持つとの答弁であったが、つじつま合わせの答弁であり、早急に市民が利用しやすい新庁舎建設に向けた計画を策定すべきである。現在地に建て替える場合には岩沼市民体育センター跡地等は公共ゾ	市 長

(同)	(同)	飯 塚 悦 男	ーンとして必要な土地であると考えてるが、市長の考えを伺う。	市 長
			<u>2. 敬老祝い品について</u> 1. 令和5年、6年、7年の祝い品について伺う。 2. 令和5年、6年、7年の選定理由について伺う。 3. 令和5年、6年、7年の一人当たりの単価について伺う。 4. 令和5年、6年、7年の仕入れ先について伺う。	市 長
10	2	西 塚 秀 市	<u>1. 岩沼市民体育センター跡地の利用等について</u> 1. 岩沼市民体育センター跡地に建設中の店舗について、工事完了及び開店予定時期を伺う。 2. 営業時間については把握しているのか伺う。 3. 近隣住民に対して十分な説明をしているのか、説明が不十分ではないのか、認識を伺う。 4. 今後、近隣住民に対してどのような説明及び対応をするのか伺う。 5. 岩沼市民体育センター跡地の市道桜15号線について (1) 保健センターには駐車場が19台分ある。その中に保健師、医師の駐車場が2台設けてあるがそれはどのような扱い方なのか伺う。 (2) 保健センターの駐車場が満車の場合、健診に来た人は何処に駐車することになるのか伺う。 (3) 健診に来た人で足腰の弱い人や体の不自由な人、乳幼児の検診に来た人も同様に取り扱うのか伺う。 (4) 令和8年第2回定例会において議決された市道桜15号線の幅員を伺う。 (5) 歩行者専用道路が無いように見受けられるが、考えを伺う。 (6) 保健センターの利用者のために3.5m幅の歩行者専用道路を作るべきだと思うが、市の考えを伺う。 (7) 市道桜15号線には、両方の店舗から出入りできるような店舗計画になっているが、保健センターに健診に来る市民の安全は確保されているのか伺う。	市 長
			<u>2. 選挙公約について</u> 1. 2033年までに人口5万人を目指すと掲げているが、具体的な施策を伺う。 2. 「市民会館駐車場の無料化を実現」とあるが、実	市 長

(同)	(同)	西 塚 秀 市	現までの見通しを伺う。 3. 「市民の意見が十分に反映されるよう新たなプラットフォームを創ります」とあるが、具体的な内容を伺う。 4. 「「このまちいいね！」って思える岩沼」について、市長の考えと今後の見通しを伺う。	市 長
11	1	岡 田 みつえ	1. 人口5万人構想の実現に向けた市政運営について 本市において人口減少は喫緊の課題であり、地域経済、医療、福祉、教育など、市民生活全般に大きな影響を及ぼす重要な行政課題である。 市長は公約において「8年後、岩沼市の人口を5万人へ」との目標を掲げられた。人口減少対策に取り組む姿勢は理解するところであり、将来を見据えた重要な公約の一つであると受け止めている。 一方で、人口増加は住宅、雇用、子育て、教育、公共交通など、多岐にわたる施策を総合的かつ継続的に進めて初めて実現し得るものである。 また、その推進に当たっては現行の総合計画や人口ビジョンとの整合を図るとともに、全庁横断的な推進体制の構築と市長自らのリーダーシップが不可欠であると考えている。 さらに市民が目標を共有し将来に期待を持つためには、将来像を示すだけでなく、その実現に向けた具体的な工程、財源及び推進体制を分かりやすく示すことが重要であると考えている。 そこで、次の点について伺う。 1. 人口5万人構想の位置づけについて (1) 8年後に人口5万人という目標を掲げた根拠について伺う。 (2) この目標は、現行の総合計画及び人口ビジョンとどのように整合を図っていくのか伺う。 (3) 公約で示された定住自立圏構想との関係をどのように整理しているのか。また、どのような効果を見込んでいるのか伺う。 (4) 8年後に人口5万人を目指すに当たり、任期4年の中でまずどの段階まで到達することを目標としているのか、市長のビジョンを伺う。 2. 人口5万人構想の実現に向けた取組について (1) 人口5万人達成に向け、社会増及び自然増をそれぞれどのように見込んでいるのか伺う。 (2) 人口5万人構想の実現に必要な財源及び	市 長

(同)	(同)	岡 田 みつえ	事業規模をどのように見込んでいるのか伺う。 (3) 空き家活用や新たな居住地整備など、住宅政策をどのように進める考えか伺う。 (4) 雇用創出、企業誘致及び子育て支援を、人口増加にどのように結び付けていく考えか伺う。 (5) 市外からの転入促進だけでなく、若い世代や子育て世代の市外流出を抑えるため、どのような対策を講じる考えか伺う。 3. 推進体制及び市長のリーダーシップについて 人口政策は、企画、都市整備、商工、福祉、教育など複数の部局にまたがる政策である。 (1) 全庁横断で人口5万人構想を推進するため、どのような庁内体制を構築する考えか伺う。 (2) 各部局間の連携及び進捗管理をどのように行う考えか伺う。 (3) 市民参加を重視する一方、多様な意見がある中で、市長はどのような考え方で最終的な政策判断を行うのか。また、市長としてどのようにリーダーシップを発揮していく考えか伺う。 (4) 人口5万人構想のような部局を横断する政策において、市長はどのように庁内の調整を行い、公約を前に進めていく考えか伺う。 4. 工程管理について (1) 年度ごとの目標値を設定する考えはあるか伺う。 (2) 工程表を策定し、市民へ公表する考えはあるか伺う。	市 長
12	11	佐 藤 一 郎	<u>1. 市長の公約にある「商工業の活性化と財源の確保を両立」について</u> 1. 多くの自治体では、少子高齢化の状況にあり、限りある財源を有効に活用しながらも、子育て世代に魅力のあるまち、働ける場所があり高齢者に優しく、社会福祉や教育が充実し、公共施設やインフラが整備されている安全安心なまちにするために、年々歳出が増加傾向にあり、本市も例外ではない。財源の確保について、市長の見解を伺う。 2. 本市の商業の活性化について (1) 本市の商業についてどのような課題があるのか伺う。 (2) 課題に対し、どのように取り組むのか伺う。 (3) 商店街はコロナ禍以降閉店する店が多くなっ	市 長

(同)	(同)	佐藤 一郎	ている。商業の活性化に向けた取組を伺う。 (4) 令和8年度の商業振興活性化事業補助金の予算額は45万円である。補助金に関する今後の取組について伺う。 (5) 民間の活力を生かし、時代の変化に対応できる商店街があるまちづくりを進めるべきと考えるが、見解を伺う。 3. 工業の活性化について (1) 本市の工業の課題は何か伺う。 (2) 本市の工業の活性化について見解を伺う。 (3) 企業誘致の新たな取組として、今期定例会の市政報告に「企業立地奨励金の見直し」とあるが、内容について伺う。 (4) 「岩沼IC周辺北地区」について一般保留地区から市街化区域編入に向けた取組状況を伺う。 4. 市長の公約には「農業の活性化について」が入っていないが、農業は、食料生産、治水管理、自然環境保全、景観の維持など岩沼市の基幹産業でもある。農業の活性化の取組について、市長の見解を伺う。 5. 個人版ふるさと納税や企業版ふるさと納税による財源確保の状況について伺う。 (1) 個人版ふるさと納税は、令和6年度は9億1,500万円、令和7年度は17億9,800万円となり、令和8年度は20億円を目標としている。寄附額増加に向けた今後の取組について伺う。 (2) ふるさと納税担当課の今後の体制について伺う。 (3) 企業版ふるさと納税は、市の施策内容によって寄附額の増加が見込まれる。寄附を募るための市の施策をどのように考えているのか伺う。	市長
			<u>2. 市長の選挙公約にある「8年後に5万人のまちへ」について</u> 1. 人口5万人の都市計画とは、具体的にどのような構想なのか伺う 2. 地方創生総合戦略では、令和15年での人口45,000人到達を目標としており、20歳から39歳の年間転入者数の数値目標1,300人としているが、8年後に50,000人とするのには年間1,500人以上の転入者が必要ではない。「空き家の活用」「新たな居住地の整備」の具体的な施策について伺う。	市長

(同)	(同)	佐藤 一郎	(1) 住宅土地統計調査によると、市内の空き家は、平成30年で2,010戸、10.6%ある。また、令和2年の国勢調査によると、空き家予備群として高齢者単身、夫婦のみを合わせた世帯が3,447戸で約20%となっている。空き家をどのようにするかとのアンケートによると、「売却したい」、「貸出したい」、「解体したいが費用がない」、「改修したいが費用がない」、「売れる場所でもない」、「そのままの状態になる」という現状がある。提言として解体費用100万円、改修費用100万円の補助をすべきではないか、考えを伺う。 (2) 岩沼市への転入者における転入元市町村の状況を伺う。 (3) 転入を促進するためにどのような施策を考えているのか伺う。 (4) 「新たな居住地の整備」を想定した場所について伺う。 ① 東部地区の取組について伺う。 ② 中央部地区の取組について伺う。 ③ 西部地区の取組について伺う。 3. 岩沼駅東側の駅前開発について、どのように行うのか伺う。 4. 本市は岩沼駅前に交番が設置され、一段と安全安心なまちになった。仙台駅まで電車で約20分と通勤通学の利便性が高い地域であるが、岩沼駅東側は駐車場が多く、ここ数年マンションの建設もなく、商業施設も少ない。住宅施設、商業施設の誘致を促進すべきではないか、考えを伺う。 5. 岩沼中央線（旧4号線）と駅前大通線交差点の右折レーンの設置について、見解を伺う。	市長
13	8	大友 健	1. 市長選での「訴え」について 1. 市民会館駐車場有料化の取りやめについて (1) いつ、どんな形で取りやめる方向なのか伺う。 (2) 業者の収益3,333万円（令和7年度）はもうけ過ぎではなかったか伺う。 (3) 有料化によって市民会館の利用などに影響があったと見るか伺う。 2. 「すぐやる課」はどのような位置づけにして、いつ頃スタートさせるのか伺う。 3. 関連して機構改革もやるのか伺う。 4. 職員の定期異動並みの人事異動をやる考えはあ	市長

(同)	(同)	大友 健	るのか伺う。	市 長
			2. 岩沼市民体育センター跡地の民間貸付について 1. 住民監査請求と住民訴訟と事業用定期借地権設定契約について (1) 監査請求の要件審査が1カ月もかかったのはなぜか伺う。 (2) 受理されずに却下され、監査が行われなかったのはなぜか伺う。 (3) 提訴があつて2日後に契約したのはなぜか。急いだのか伺う。 (4) 契約したときの市長はいない。新たな市長のフリーハンドが奪われた。この固定化を事務方は今、どう思うのか。事務方にも責任があるのではないか伺う。 (5) 市長選告示の約50日前の契約締結は、慎重であるべきではなかったか。倫理的にも、道義的にも、事務方も突っ走っていたのか伺う。 2. 保健センターに向かう新しい市道について (1) 何のため、誰のために市道にしたのか伺う。 (2) 出店する業者のためではないか、考えを伺う。 (3) 市道として整備するための費用はいくらか伺う。 (4) 市道がないと小売店舗を営めないのではないのか、見解を伺う。 (5) 岩沼市民体育センター前交差点への信号機移設で新たな渋滞が発生しないか伺う。 (6) この場所は渋滞発生も含め、商業用地として適地ではなかったのではないのか伺う。 3. 大店立地法に基づく「地元への説明会」について (1) 建設工事に絡む騒音などの苦情が出たが、市は対応したのか伺う。 (2) 計画概要書が縦覧中だが、市はなぜ縦覧を告知しないのか伺う。 (3) 市は自治体としての意見表明を県に対して行うのか伺う。 (4) 行う場合、どんな内容となるのか伺う。 4. 住民訴訟の方向性について (1) 被告の市側弁護団をどうするのか伺う。 (2) 福重企画の自主撤退はあり得ないと見るのか伺う。 (3) 和解という手も考えられるのか伺う。	市 長 市 長 監査委員

14	3	大 村 晃 一	1. 新市長の子育て支援や若者施策に対する考えについて 1. これまでの市政に対する取組の評価とこれからの考えについて (1) 選挙期間中や選挙公約では、特に目立った新たな子育て支援策や若者に関する政策などは見受けられなかったが、新市長として、市政全体の中でどのような位置づけとして考えているのか伺う。 (2) 前市政で実施されてきた子育て支援や若者施策について ① 前市長が取り組もうとしていたことや取り組んできた内容に対して、評価に値すると思うところはあるのか、あるとすればどんなところか伺う。 ② 逆に自分の考えと異なり、見直しや廃止を考える取組はあるのか、あるとすればどんなところか伺う。 (3) 市独自の経済的支援に対し、拡充または見直しを行う考えはあるか伺う。 (4) 前市政が力を入れてきた子育て支援について、市長にとって現段階での課題はどんなことがあると考えているのか伺う。 2. 岩沼市子どもの遊びと交流基地m i i i n aに対する市長の考えについて (1) 選挙期間前に配信された岩沼市長選挙ネット討論会の中でも自分の考えを述べていたが、現在取り組んでいる事業などで見直しが必要だと感じているところはあるのか伺う。 (2) 見直しをする必要があるとすれば、いつ頃までに行うのか伺う。 (3) 選挙期間前に配信された岩沼市長選挙ネット討論会の中で、目的の明確化について前市長と意見を交わしていたが、改めて真意を伺う。 3. 8年後に人口5万人を目指すと掲げている公約に関連した子育て支援や若者への施策に対する市長の考えについて (1) 5万人まで増やす場合、子どもや若者はどの程度増やしたい思いがあるのか伺う。 (2) 8年後の人口を5万人とする目標を掲げているが、子育て世代の移住・定住をどの程度の重要	市 長
----	---	---------	--	-----

(同)	(同)	大 村 晃 一	戦略として位置づけていくのか伺う。 (3) 人口5万人を達成するために、出生増・転入増・転出抑制のそれぞれについて、数値目標は新たに設定するのか伺う。 (4) 保育及び教育インフラ整備として、人口増を前提とした場合、保育所、学童保育及び学校施設の受入能力をどのように整備する考えがあるのか伺う。 (5) 今後の人口増加を見据えた場合、待機児童ゼロを維持するための中長期計画はどのように考えているのか伺う。 (6) 市長の公約には人口増加の目標人数や年度が明確化されているので、岩沼市こども・若者プランを改訂する必要があると考えるが、見解を伺う。 4. 任期中、最も強化したい子育て支援や若者施策は何かあるのか伺う。	市 長
15	7	佐 藤 直 美	<u>1. 熊出没対策について</u> 1. 子どもの命を守る学校における危機管理体制について (1) 学校ごとの対応マニュアルは整備されているのか伺う。 (2) 発見時の行動基準は統一されているのか伺う。 (3) 教職員への研修や訓練は実施されているのか伺う。 2. 未然防止と地域連携について (1) 通学路の環境整備状況を伺う。 (2) 警察、教育委員会、危機管理課及び岩沼市鳥獣被害対策実施隊との連携について伺う。 (3) 岩沼市鳥獣被害対策実施隊の担い手不足への対応について伺う。	市 長 教育長
			<u>2. 病児保育について</u> 1. 現在の利用状況について伺う。 2. 周知と利用しやすさについて伺う。 3. 人口5万人・子育て世代に選ばれるまちとの関係について伺う。	市 長
			<u>3. 北朝鮮による拉致問題について</u> 本市における現在の取組について 1. どのような啓発活動を行っているのか伺う。 2. 北朝鮮人権侵害問題啓発週間における取組状況について伺う。	市 長 教育長

(同)	(同)	佐藤直美	3. 学校教育において、拉致問題や人権教育にどのようなに取り組んでいるのか伺う。 4. 今後の取組について伺う。	市長 教育長
-----	-----	------	--	-----------